

我が区の「おたから」
～23区の魅力を再発見～

第14回
千代田区

千鳥ヶ淵の桜

区の花にも桜が制定されている千代田区は、区内各所に桜の名所があります。なかでも千鳥ヶ淵は日本屈指の桜の名所として、広く海外にも知られています。コロナ禍の影響で中止となっていた「千代田のさくらまつり」が今年4年ぶりの開催となり、国内外から来訪された観光客の方々に、満開の桜とさまざまなイベントを楽しんでいただきました。



◆国内外から多くの観光客が来場する「千代田のさくらまつり」と桜関連イベント

約150年前に植えられたソメイヨシノが始まり

江戸城の濠として造成された千鳥ヶ淵は、江戸時代から風光明媚な場所として親しまれ、春には桜花が咲き誇る花見の名所となります。千鳥ヶ淵に最初に植えられた桜は、明治14（1881）年、東京府が英国大使館

前（現在の内堀通り）に植えたソメイヨシノだといわれています。さらに明治31（1898）年、当時の駐日英国公使アーネスト・サトウ氏が英国大使館前の空地（現在の千鳥ヶ淵公園など）に桜を植え、東京府に寄付を

してしまいましたが、昭和30（1955）年頃、区により千鳥ヶ淵にたくさん桜が植えられ、このときの桜は今も残っています。現在、約700mに及ぶ遊歩道「千鳥ヶ淵緑道」には、ソメイヨシノを中心に修善寺桜、ヤマザクラ、奈良の八重桜など約260本の桜が、3月下旬から4月上旬にかけて見事な花を咲かせます。

千鳥ヶ淵を中心に開催する「千代田のさくらまつり」

千代田区と千代田区観光協会は、令和5（2023）年3月24日から4月4日までの12日間、令和元（2019）年以降中止になっていた「千代田のさくらまつり」を開催しました。千鳥ヶ

淵周辺を主な会場とし、国内外から多くの観光客が訪れる一大イベントです。主な内容としては、千鳥ヶ淵緑道一帯の桜並木のライトアップ（日没の18時頃～22時）、千鳥ヶ淵ボート場の夜間営業（通常期より延長して9時～20時30分）、今年初の企画となるリアル謎解きゲーム「怪盗プロッサムの挑戦状」など。このゲームは参加者が謎を解きながら千代田区内を周遊するもので、達成した方にはホテル宿泊券などの豪華景品を抽選でご提供しました。4年ぶりとなったさくらまつりには、日本のみならず世界中から多くの方々にご来場くださり、千鳥ヶ淵の桜を楽しんでいただくことができました。



千代田区の桜の大半を占めるソメイヨシノ



千鳥ヶ淵緑道の桜のトンネル

桜の季節の千代田区は 桜イベントが盛りだくさん

千代田区では毎年桜の季節になると、桜の名所周辺でさまざまなイベントが開かれます。千代田区商店街連合会は、千代田区内の神社など桜の名所にスタンプスポットを設置した「ミニさくらフェスティバルスタンプラリー」を開催しました。NPO法人ちよだの水辺を魅力ある都市空間に再生する会は、水辺から満開の桜を楽しむ期間限定のクルーズ「千代田のさくら・お花見クルーズ」を実施。3月末から4月初めにかけて「隅田川桜景色&深川さくら祭り観覧クルーズ」「春の神田川&日本橋川観覧クルーズ」「夜桜ミステリー&隅田川ライトアップクルーズ」を運行しました。



千代田さくら祭り公式ガイド
MAP2023



ライトアップした千鳥ヶ淵緑道



春の千鳥ヶ淵ボート場にぎわい

千代田区観光まちづくり実行委員会は「千代田さくら祭り公式ガイドMAP」を発行し、桜の見所やそれぞれの地域で開催するイベント、エリア別お店ガイド等を掲載しています。千代田区観光協会でも「千代田のさくらまつり」を中心としたイベント情報と桜の見所等を掲載した「ハルメキ！千代田」を発行。この2つは3月中旬から区内各駅や千代田区観光案内所等で配布しています。

千代田区内には大手町・丸の内・有楽町地区を無料で巡回するシャトルバスが常時運行していますが、桜の時期にはコースを延長した「千代田さくら祭り号」を期間限定で運行。さらに今年からは千鳥ヶ淵と東京駅をダイレクトに結ぶ無料直通バス「丸の内ダイレクトシャトル」も登場し、大好評でした。

丸の内シャトル「さくら祭り号」
運行ルート
→丸の内ルート → 延伸ルート
※延伸ルートは3/25(水)26(木)のみ運行

丸の内シャトル
丸の内ルート

は、さくらの見所
桜の散策ルートは、6ページから9ページをご覧ください。
千代田区のMAPで、千鳥ヶ淵周辺、皇居周辺のおすすめるルートを紹介します。

千代田区内は路上喫煙禁止です
違反した場合は罰金¥2,000の罰則が適用されます。

千代田区
Chiyoda City

千代田さくら祭り全体MAP

Metro link
丸の内線
有楽町線
千代田線

「千代田さくら祭り公式ガイド MAP2023」より

◆水面から眺める桜は圧巻！ 都心のオアシス「区営千鳥ヶ淵ボート場」

外国人観光客にも人気。桜の季節には行列ができる

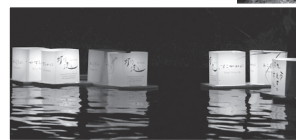
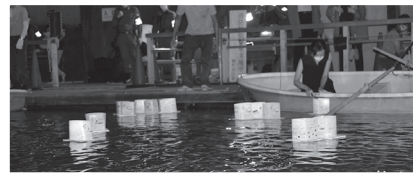
夏の夜には日本の伝統行事「灯ろう流し」を実施

千鳥ヶ淵ボート場は、昭和25（1950）年、夏の娯楽施設として開設され、その後70年以上水辺の憩いの場として親しまれてきました。江戸城跡という歴史的景観の中で春の桜や新緑が楽しめる、都心のオアシスです。現在のボート場は平成21（2009）年に改築したもので、管理棟（ボートハウス）は千代田区が整備しています。ボートはスワンボート、サイクルボート、手漕ぎボートの3種類があり、それぞれ30分または1時間の貸し出しを行っています。

桜の季節、斜面から水面に枝垂れる桜の下をボートで通ることもでき、その眺めはぜひ体験していただきたい美しさです。「千代田のさくらまつり」期間中は夜間営業を実施し、ライトアップした夜桜を楽しめます。最近SNSの影響で海外でも有名になり、ボートからの撮影を目的に来られる外国人観光客の方も多く、今年は整理券発行時に行列ができました。

千鳥ヶ淵ボート場では、日本の夏の伝統行事「灯ろう流し」のイベントを行っています。今年は7月26日と27日の夜（19時～20時）に開催し、国内外から多くのお客様にご来場いただきました。

千鳥ヶ淵の「灯ろう流し」は、戦後の荒廃した人々の心を癒そうと、昭和33（1958）年に始まったもので、メッセージを記入した灯ろうを1日に1000個、「贈り灯」としてボートの上から濠の水面に流します。感謝や希望、平和への願いが込められた灯ろうの光が水面にゆらめき、幻想的な光景が広がります。「灯ろう流し」へのボート乗船参加は、毎年高い倍率の抽選となります。灯ろうに願いを書くことは、当日会場でも先着順で行うことができます。ウェブサイトからの予約か観光案内所での事前購入も行っています。ぜひ一度参加してみてください。



夏の風物詩、千鳥ヶ淵の「灯ろう流し」



ライトアップした夜桜も人気



ボートに乗って満開の桜を鑑賞

住所：千代田区三番町2先
 TEL：03-3234-1948
 営業時間：10時～17時（さくらまつり期間中は9時～20時30分）、
 受付は営業終了の30分前まで
 定休日：月曜（祝日の場合は翌平日）、強風・雨天の場合、
 臨時休業あり
 冬季休業：12月～2月
 料金：1艘につき通常期30分500円・60分1,000円、
 観桜期30分800円、60分1,600円
 ※混雑状況により整理券を発行します。最新の情報は千鳥ヶ淵ボート場のTwitterをご覧ください。



千鳥ヶ淵ボート場
Twitter アカウント



◆千代田区の桜を守るための「千代田区さくら基金」

多くのサポーターの方々に守られている千代田区の桜

千代田区には、気象庁が桜の開花を決定する標本木がある靖国神社、飯田橋から四ツ谷までの約2kmが遊歩道になっている外濠公園、昔大名屋敷があった紀尾井町の清水谷公園など、千鳥ヶ淵以外にも桜の名所がたくさんあります。

区内の桜のほとんどは戦後まもなく植えられたソメイヨシノで、樹齢約70年の老木です。これらの桜を守るには、樹勢調査と病害虫の予防などの処置、枯れ枝の剪定や倒木の危険がある木の伐採など、きめ細やかな維持管理が必要です。千代田区では「さくら再生計画」を策定し、桜の再生に協力していただける方を募集する「さくらサポーター制度」や永続的な維持管理の費用を確保する「千代田区さくら基金」を創設しました。全国のサポーターの方々には、さくら基金への資金援助のほか、千鳥ヶ淵緑道などの清掃活動、桜の魅力を伝えるための講習会、桜の観察会等の啓発活動も行つて

いただいています。

クラウドファンディングでさくら基金への支援をお願い

千代田区の桜の維持管理には年間900万円かかります。これは区の予算のほかに桜を大切に思ってくださっている方々からの寄付「千代田区さくら基金」によって成り立っています。この基金は「千代田のさくらまつり」の際にお願いしていた募金を中心でしたが、コロナ禍でさくらまつりが中止となり、基金も減ってきてしまっていました。そこで区では、令和4

(2022)年からクラウドファンディングで「千代田区さくら基金」への寄付を募りました。目標金額は1千万円としましたが、令和4(2022)年には約1千300万円、令和5(2023)年には約1千400万円が集まりました。

返礼品として人気が高かったのは、桜の倒木で作った絵馬。桜守シリアルナンバーと名前など好きな文字が入れます。そのほか千鳥ヶ淵緑道入口と出口に設置する案内板への個人名と

法人名の掲載、千鳥ヶ淵のさくらで染めるハンカチーフ、都市史学者の案内で江戸城の外堀を船で水辺から見学し江戸城内御門を歩きながら見学する石垣巡りツアー、秋葉原でカレー店を巡るツアーやメイド喫茶と区のさくらがコラボしたオリジナル商品など、バラエティ豊かな返礼品をご用意しました。

予想以上の結果となったクラウドファンディングでしたが、千代田区の桜に熱い思いを持ってくださる方が大勢いらつしやることを実感しました。今後も千鳥ヶ淵をはじめとする美しい景観を守るために、桜の維持管理を続けてまいります。



桜の倒木で作った絵馬は桜守の証



千鳥ヶ淵のさくらで染めるハンカチーフ



千鳥ヶ淵に設置した個人名・法人名が記載できる桜の案内板



歴史マニア必見の江戸城石垣巡りツアー